

平成15年6月30日

関係者の皆様へ

江戸川第一終末処理場計画地について（お知らせ）

1. 第2回「江戸川第一終末処理場計画地検討会」について

5月28日(水)、江戸川下水道事務所会議室にて地権者委員、周辺自治会委員及び千葉県・市川市委員による第2回「江戸川第一終末処理場計画地検討会」を開催しました。



会議につきましては、市川市が市民参加で作成した「行徳臨海部基本構想」をベースにした「土地利用方針の整理」と「江戸川第一終末処理場の計画について」を議題に話し合いを行いました。（別添資料参照）

2. 第2回「江戸川第一終末処理場計画地検討会」結果概要

・会長挨拶要旨

- ・本日からはいよいよ計画地の土地利用計画案を作成するための具体的な議論をスタートするということになります。
- ・10月ごろまでには素案から土地利用計画案という形へ作り上げたいということで、ご提案をさせていただきましたが、これは非常に厳しいスケジュールであると思っております。
- ・私といたしましては、遅れることなく取りまとめを行っていきたいと思っております。

・主な質疑及び意見

説明のあったものは全部、終末処理場の上へつくるのか。

イメージ施設例によっては、処理場の上部に設置する場合とその他に設置する場合の両方が考えられます。

実施する場合、県が財源を持つのか。市が財源を持つのか。

まずは土地利用を描き、その土地利用によって事業主体等が決まってくることになります。

区画整理ができるものと思って土地を取得したが、住宅地の話が全然ない。

住宅地ということは、このイメージ施設例として特出ししていないだけです。区画整理については、地権者の方のご意向が重要と考えております。

土地の単価はどのぐらいに設定するのか、そういう問題を先に交渉したほうが、まとまりがいいのではないか。

この会は48ヘクタール全体について、皆様のご意見を聞きながらまとめていこうということで発足し、議論をさせていただいております。

土地買収というものが終わらなければ、絵に書いた餅になる。県では収用委員会は機能しているのか。

収用委員会という組織は、ございますけれども、委員は空席になっております。

土地利用は、県の土地になって初めて利用できる。勝手に決めるのはまずいのではないか。

残り少ない行徳地区の海側は地価が高く、もう二度と出てこない土地だと思う。できるだけ公共性の高いもの、例えば、臨海部の福祉施設というのは土地がなくて、各自治体ができなくて困っている。公共性・防災性の高いものを計画してもらいたい。

県や市の財政は、ただの空地を買うための財源は取れない。この土地が必要だということで、イメージ施設例を立ち上げた、私は思っている。

計画の前に地権者の意見をもっと集約して、大体まとまるような格好にもっていくのが、本当の筋ではないか。

うちの土地は30年もそのままの状態である。収入のある人はいいが、収入も何もない。だから、できるだけ皆さんと協力して、できるだけ早く解決していきたいと思っている。

堂本知事になって、処理場が設置されることになった訳で、県には1日も早く安心して生活できるような環境にしてもらいたい。三方一両得になるような答えが、この検討会で出せたら、私が委員に立候補した意味もあると思っている。

任意買収で100%買収できると県は考えているのか。

当然、100%買えるように最大限の努力をいたします。

色々なご意見が、地権者のみんなにあると思うが、意向を集約し、そのことを踏まえた上でゾーン分けをし、しかも全体の利用計画は県・市が少なくとも責任を持った上で実施してもらいたい。あまり夢ばかりが先に行って、最後は整合性ができないというのが一番まとまらない基だと思う。

当初は48ヘクタールで計画していたのだから、下水道終末処理場用地とその他の土地利用を検討するのではなく、48ヘクタール全てを買収するという考えの方が問題は少ないのではないか。

地権者は臭いや砂塵等について責任があると思う。地権者として、貸してる人たちの指導をしっかりと欲しい。それで今の環境がもっともっと良くなるように指導して欲しい。それが周辺住民の希望である。

市川市ですが、今回は県と話し合っ、おおまかなゾーニングのようなものを示し、その実現性をどうするかということについて議論をさせていただきたい。最終的に土地利用が明確になるのは、もう少しやりとりし、行ったり来たりしながら固まってくると私どもは思っております。

最終的に排水を流す時に、どこに流すかによって漁業権の問題などが、出てくるのではないか。

江戸川第一終末処理場の放流先につきましては、旧江戸川のほうに放流を考えています。

- ・旧江戸川のほうへ流してもらわないと海苔もできない。アサリもとれない。処理水は旧江戸川のほうへ流していただきたい。
 - ・旧江戸川も臨海公園あたりは生物を生かす、そのような施策をとっている。あくまでもこの終末処理場で、この水だったら海に流しても完璧だと、そのような技術方法はないのか。
- 検討課題ということで受け止めておきます。

終末処理場のゾーンは住宅地や湾岸道路との緩衝を考えると、できれば湾岸沿いの緩衝地帯にもって行ってもらいたい。

次回、処理場はこれぐらいのこのような位置に、それから市川市が利用したいのはこういう位置に、それから地権者の方々がもし利活用したいという方がいらっしゃればこんな位置に、そういうゾーンニングをご提示して、またご議論いただければと思います。

下は処理場で、上は別の土地活用する。そういう両方使えるような考え方をお願いしたい。

等の質疑がありました。

3. その他

第3回「江戸川第一終末処理場計画地検討会」は7月下旬の夜に開催を予定しております。

ご意見、ご要望、ご不明な点などありましたら、下記までお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

千葉県都市部下水道計画課計画指導室（担当：下平、松重、林、田中）

電話番号：043-223-3350 F A X：043-224-5655

Eメール：ge-1matu@mz.pref.chiba.jp

市川市建設局都市政策室（担当：近藤、栗林）

電話番号：047-334-1111(内線 5021・5013) F A X：047-336-8024

Eメール：toshiseisaku@city.ichikawa.chiba.jp